

令和7年度事業報告

1 概況

人口減少、少子高齢化が進展し、高齢者のより一層の活躍が期待される中で、シルバー人材センターは、高齢者が就業を通じて地域社会に貢献し、高齢者の生きがいや社会参加の場として、重要な役割を担っています。

こうした中、宇部市シルバー人材センターでは、「会員の拡大」「就業機会の拡大」「安全就業」の3本を柱に事業に取り組んでまいりました。

会員の状況については、定年延長や再雇用制度が定着する中、会員の拡大は厳しい環境にあります。令和7年度末の会員数は、前年度末から9人増加の1,197人となりました。男女別では、女性会員が37人の増加、男性会員が28人の減少となっています。

事業実績については、契約金額は5億6,107万円で、前年度と比較すると2,240万円、4.2%の増となりました。

安全就業については、傷害事故が7件（前年度比△1件）、賠償事故が12件（前年度比+5件）発生しており、安全対策のより一層の強化が求められます。以下、令和7年度の事業実施状況について報告します。

2 事業実施状況

(1) 会員の確保・拡大

会員の確保・拡大は、センターの最重要課題であり、新たな取組として、

- ・春の新規入会キャンペーン
 - ・自治会班回覧
 - ・宇部市役所総合案内板 電子広告
 - ・シニア活動マッチングサイト「いくよう」でのPR
 - ・女性を対象とした「おしごと見学会」を実施するとともに、
 - ・入会説明会（毎月2回）
 - ・市広報で入会説明会のお知らせ
 - ・新聞広告、地元情報紙（宇部日報、読売新聞、サンデーうべ）
 - ・ハローワークでの出張相談、シニア合同就職面接会
 - ・女性委員会による各種講習会
 - ・未就業会員へのアンケート調査
 - ・就業体験（公園清掃作業）等を実施
- また、
- ・会員紹介制度（45人入会）
 - ・夫婦会員制度（74組）
 - ・サポート会員制度（37人）
 - ・フレンドリーショップ制度（35店舗・事業所）など、
- 入会促進と退会抑制に向けた取組を実施しました。

(2) 事業実績

就業実人員は 925 人（前年度 913 人）、就業延人員は 86,602 人（前年度 87,893 人）、就業率は 77.3%（前年度 76.9%）となりました。

令和 7 年度の請負・委任事業と派遣事業を合わせた受注件数は 3,917 件、契約金額は 5 億 6,107 万円（前年度 5 億 3,867 万円）となりました。

(3) 安全就業の推進

4 月に安全講習会を除草・機械除草・植木剪定班合同で実施しました。安全衛生委員会による安全パトロールを抜き打ちで実施するとともに、「安全だより」を年 4 回発行し、注意喚起を行いました。

熱中症対策については、対応マニュアルを作成し、屋外作業班に配布、周知を図りました。

機械除草の飛石事故防止対策については、作業前の危険箇所・作業方法の確認、防護ネット使用の徹底、飛石防止 2 枚刃使用の指導を行いました。

(4) 普及啓発活動

シルバー人材センターの活動をより広く知っていただくため、ウェブサイトやインスタグラムの充実、各種チラシの作成・配布、自治会班回覧、電子広告、新聞社への情報提供等により情報発信に努めました。

また、地域班によるボランティア活動などを通じて普及啓発に努めました。

加えて、おしごと見学会、就業体験会、新聞広告など、山口県シルバー人材センター連合会と連携して、普及啓発活動に取り組みました。

(5) 会員組織活動

総務広報委員会では、会報「シルバー宇部」を年 4 回発行し、会員への情報提供と会員間のコミュニケーションを図りました。

組織研修委員会では、接遇・マナーアップ・アンガーマネジメント講習会を開催し、会員の資質向上に努めました。

また、センターの事業運営に会員の意見や要望を反映させるため、地域班会議が 12 地域で開催されました。

職群班では、技能向上と情報共有を図るため、総会、技能講習会が開催されました。

(6) 会員の福利厚生

9 月に「会員のつどい（安全と健康のために）」を開催し、ウォーキングインストラクターによる講演、交通安全教室、安全宣言、併せて作品展、マルシェ、お楽しみ抽選会などを実施しました。

11 月には会員相互の親睦も兼ねて、広島県宮島方面への研修旅行を実施しました。